

Compliance

コンプライアンス

法令遵守。

特に、企業活動において社会規範に反することなく、公正・公平に業務遂行することをいう。（大辞林）



長年の間、役員が福井県高浜町の元助役から金品を受け取っていた、という報道で話題の関西電力。コンプライアンスへの取組みはどうなったのか？ホームページを覗いてみましょう。。。

Corporate Social Responsibility
企業としての社会的責任

CSRに対する考え方

関西電力グループは、

コンプライアンスや透明性の確保など、社会の一員としての責務を確実に果たすとともに、グループの事業活動に対してみなさまから寄せられる期待に誠実にお応えすることにより、社会の持続的発展と明るく豊かな未来の実現に貢献し、みなさまからの信頼を確固たるものとしていきたいと考えています。

(参考資料①)

CSR行動原則

6.コンプライアンスの徹底

関西電力グループは、

事業活動のあらゆる局面において、法令、社内ルール、企業倫理等を遵守し、コンプライアンスを経営の基盤として実践・徹底します。また、グループ全体でこれらの実践を保証するためのしくみを構築し、その維持・改善を図ります。

(参考資料②)

(一人ひとりの行動規範)

・・・全部で5つあるうちの4つ省略し、最後の一つ

- ・常に関西電力グループの一員としての自覚を持ち、品位を保ち、社会人として良識ある行動をとります。

コンプライアンス推進の取組み

2019年度は

「事業領域の拡大と事業環境の変化に伴って生じる
リスクに対応したコンプライアンス推進」、

「前例にとらわれず、

自ら考え行動する自律的なコンプライアンス推進」

をコンプライアンス推進の基本方針に掲げています。

また、当社グループ全体で認識し取り組むべき

コンプライアンス推進の重要テーマとして、

「競争ルールの遵守徹底」、

「事業の変化に対応したリスク感度の向上」、

「前例踏襲による不適切事象の防止」、および

「良識ある行動の徹底」

の4つを選定しています。

2019年4月2日

日本取引所自主規制法人 上場会社セミナー2019

「不祥事をどう防ぐか」(大阪開催)

というセミナーに関西電力の常任監査役 八嶋康博氏が登壇しています。
八嶋氏の発言です。

(参考資料③p.18)

原子力を含め、
社会に対して開かれた事業運営をしないと、
電気事業は一步も進まないというのを
みんな痛感しているのが実態だと思います。
そして、経営トップについては、
そうした点をよく理解している人が選抜されて、
そしてさらに、そういう目で次を選んでいく。
そういう形でつながれば、
企業文化や社風として引き継がれていくことになると思います。

(参考資料③p.25)

やはり企業風土・組織、そしてトップの資質の
二つがかみ合わないと、
どんな制度を作っても、うまく機能しないと思います。
そのためには、学習する組織にならなくてはならない。
上手に失敗するという変な言い方ですが、
できるだけ早いうちに不祥事の「芽」を見つけて、
早期に対処していくことの繰り返しで、
失敗の経験を積み重ねることだと思います。

最後に一言

・・・まさに「絵に描いた餅」

参考資料

①関電HP CSRに対する考え方

<https://www.kepco.co.jp/sustainability/csr/mind/charter/index.html>

②関電HP CSR行動原則～6つのaction～ 6.コンプライアンスの徹底

<https://www.kepco.co.jp/sustainability/csr/principle/compliance.html>

③日本取引所グループHP セミナー・イベント

2018年度 不祥事をどう防ぐか(パネルディスカッション) 2019年4月2日(大阪)「講演録」

<https://www.jpx.co.jp/regulation/seminar/01.html>